



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3305		
科目名	財政学		
担当教員	古川 晴之		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 4		
講義室	1304	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開科目		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1 - E [学識・専門技能]専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。</p> <p>D P 4 - I [理解力・分析力]文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連 E 1 学識・専門技術 (50%) I 1 理解・分析と読解 (30%) I 2 量的分析 (20%)</p>		
教員の実務経験	国会において予算及び決算審査及び調査を担当し、行財政改革をはじめ多くの調査研究を行ってきました。本講義では実務経験を活かしより日常生活に密着した視点から講義を行います。(全15回講義)		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ~ 4 定着期		
科目概要・キーワード	<p>財政とは、国や地方自治体などの公共部門の経済活動のことであり、保育・教育から年金・福祉、環境問題まで実に国民生活の広範多岐にわたる。本講義では、財政制度及びその理論の理解の上にならって、現在の日本が直面する財政の諸問題を自分なりに評価できることを目的とします。また、政府の経済活動である財政は、その時々政治体制の影響のもとで行われ、かつ市場や社会の状況によって大きく左右されることなどを考慮しながら、財政が抱えるリスクを回避するための方法論について講義形式で授業を進めます。</p> <p>授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。(キーワード) 財政制度・財政民主主義・税制・公債・地方財政・社会保障</p>		
授業の趣旨	<p>■副題 私たちの生活が、いかに財政と深く結びついているかを認識し、私たちには財政を支える責任と義務がある一方、財政から大きな恩恵を受けていることを学び、財政の役割を理解し社会的厚生を最大化できる社会人として、財政上のリスクに対応できる危機管理担当者になりましょう。</p> <p>■授業の目的 現代財政の重要課題を解明するために必要な、財政に関する理論・制度・政策・歴史の知識を修得し、財政にかかわる問題の発生メカニズムと解決の糸口を見いだすための理論を学習する。財政システムが抱える構造問題を抽出し、課題への対処のあり方について論理的に分析し、その問題に対する判断力を養うことを目的とします。</p> <p>■授業のポイント</p>		

	<p>現代の政府は、どのような経済活動をしているのか。 市場メカニズムを前提としながら、政府はなぜさまざまな経済活動を行う必要があるのか。 政府のあるべき経済活動は、どのような観点から行うべきか。 以上のような問題に対して、主に、政府の歳出や歳入である税金、公債発行などの在り方についてミクロ・マクロ的分析を行います。</p>												
総合到達目標	<p>学問としての財政学の大系を修得し、さらに、わが国財政が抱える諸問題の発生原因について基本的な理論を修得出来る。また、財政に関して学修した理論を応用し、個別の財政問題へのアプローチ力を育成し、問題への具体的な対処のあり方について、自分なりの視点から論ずることができる。</p>												
成績評価方法	<p>■リアクションペーパー各講義後（40%）：適用ルーブリック：I 1・I 3 （評価の観点）財政制度および財政問題に係わる論述問題ないし客観問題により、学識と分析力を問います。 （フィードバックの方法）回収後、内容を確認するとともに関連の知識をおさらいします。</p> <p>■レポート2回（60%）：適用ルーブリック：E 1・I 1・I 3 （評価の観点）財政制度と日本財政の課題に係わるレポートにより、財政的課題を的確に把握しさらに課題への対処のあり方を、論理的に論じる学識と分析力を問います。発想の豊かさ、知識の正確さ、回答の構成と表現が適切かどうか評価します。 （フィードバックの方法）模範レポートを示しつつ、関連の知識をおさらいします。</p>												
履修条件	<p>経済学1（RMGT/SSCS1137）、経済学2（RMGT/SSCS1138）の両科目またはどちらかを履修しておいて下さい。</p>												
履修上の注意点	<p>講義前にポータルを通じてレジメを配付するので、必ず講義を受ける前にレジメをプリントアウトして講義に臨んで下さい。</p>												
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> <p>【オリエンテーション】授業のテーマや内容、授業スケジュール、成績評価の方法、参考文献等の紹介を含めた財政学の学習方法や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。</p> </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> <p>①授業テーマ 「政府の経済活動：財政学を学ぶための基礎知識の確認と歴史を学ぶ」 ②授業概要 政府の経済活動、財政の基礎、政治活動と国民経済、政府の範囲を学修し、財政の領域と役割を説明できる。 ③予習（120分） レジメ及び配布資料を読み内容を考察する。 ④復習（120分） 講義ノートと配布資料を確認して、政府・公共の経済活動をまとめる。</p> </td> </tr> <tr> <td>3</td> <td> <p>①授業テーマ 「市場の失敗と政府の役割」 ②授業概要 市場の機能とメリット、市場の失敗、市場の失敗と財政機能との関係を学修し、財政の領域と役割を説明できる。 ③予習（120分） 教科書第0章の「経済・社会の動揺と財政」、図説日本の財政第I部2章「財政の役割と機能」を読み内容を考察する。 ④復習（120分） 講義ノートと配布資料を確認して、市場の失敗と政府・公共の仕事に関連づけて考察しまとめる。</p> </td> </tr> <tr> <td>4</td> <td> <p>①授業テーマ 「財政の3機能」 ②授業概要 マスグレイブが体系化した財政の3機能、資源配分機能、所得再分配機能、経済安定化機能を学修し、説明できる ③予習（120分） 教科書第0章の「経済・社会の動揺と財政」、図説日本の財政第I部2章「財政の役割と機能」を読み内容を考察する。 ④復習（120分） 講義ノートと配布資料を確認して、財政の3機能と意義をまとめる。</p> </td> </tr> <tr> <td>5</td> <td> <p>①授業テーマ 「日本の財政システム 予算①」 ②授業概要 財政民主主義、予算作成過程、議会による予算統制、決算制度を学修し、その役割と問</p> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p>【オリエンテーション】授業のテーマや内容、授業スケジュール、成績評価の方法、参考文献等の紹介を含めた財政学の学習方法や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。</p>	2	<p>①授業テーマ 「政府の経済活動：財政学を学ぶための基礎知識の確認と歴史を学ぶ」 ②授業概要 政府の経済活動、財政の基礎、政治活動と国民経済、政府の範囲を学修し、財政の領域と役割を説明できる。 ③予習（120分） レジメ及び配布資料を読み内容を考察する。 ④復習（120分） 講義ノートと配布資料を確認して、政府・公共の経済活動をまとめる。</p>	3	<p>①授業テーマ 「市場の失敗と政府の役割」 ②授業概要 市場の機能とメリット、市場の失敗、市場の失敗と財政機能との関係を学修し、財政の領域と役割を説明できる。 ③予習（120分） 教科書第0章の「経済・社会の動揺と財政」、図説日本の財政第I部2章「財政の役割と機能」を読み内容を考察する。 ④復習（120分） 講義ノートと配布資料を確認して、市場の失敗と政府・公共の仕事に関連づけて考察しまとめる。</p>	4	<p>①授業テーマ 「財政の3機能」 ②授業概要 マスグレイブが体系化した財政の3機能、資源配分機能、所得再分配機能、経済安定化機能を学修し、説明できる ③予習（120分） 教科書第0章の「経済・社会の動揺と財政」、図説日本の財政第I部2章「財政の役割と機能」を読み内容を考察する。 ④復習（120分） 講義ノートと配布資料を確認して、財政の3機能と意義をまとめる。</p>	5	<p>①授業テーマ 「日本の財政システム 予算①」 ②授業概要 財政民主主義、予算作成過程、議会による予算統制、決算制度を学修し、その役割と問</p>
回	内容												
1	<p>【オリエンテーション】授業のテーマや内容、授業スケジュール、成績評価の方法、参考文献等の紹介を含めた財政学の学習方法や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。</p>												
2	<p>①授業テーマ 「政府の経済活動：財政学を学ぶための基礎知識の確認と歴史を学ぶ」 ②授業概要 政府の経済活動、財政の基礎、政治活動と国民経済、政府の範囲を学修し、財政の領域と役割を説明できる。 ③予習（120分） レジメ及び配布資料を読み内容を考察する。 ④復習（120分） 講義ノートと配布資料を確認して、政府・公共の経済活動をまとめる。</p>												
3	<p>①授業テーマ 「市場の失敗と政府の役割」 ②授業概要 市場の機能とメリット、市場の失敗、市場の失敗と財政機能との関係を学修し、財政の領域と役割を説明できる。 ③予習（120分） 教科書第0章の「経済・社会の動揺と財政」、図説日本の財政第I部2章「財政の役割と機能」を読み内容を考察する。 ④復習（120分） 講義ノートと配布資料を確認して、市場の失敗と政府・公共の仕事に関連づけて考察しまとめる。</p>												
4	<p>①授業テーマ 「財政の3機能」 ②授業概要 マスグレイブが体系化した財政の3機能、資源配分機能、所得再分配機能、経済安定化機能を学修し、説明できる ③予習（120分） 教科書第0章の「経済・社会の動揺と財政」、図説日本の財政第I部2章「財政の役割と機能」を読み内容を考察する。 ④復習（120分） 講義ノートと配布資料を確認して、財政の3機能と意義をまとめる。</p>												
5	<p>①授業テーマ 「日本の財政システム 予算①」 ②授業概要 財政民主主義、予算作成過程、議会による予算統制、決算制度を学修し、その役割と問</p>												

	<p>題点を説明できる。</p> <p>③予習（120分） 教科書第1章「予算と財政民主主義」、図説日本の財政第Ⅱ部第1章「予算制度」を読み内容を考察する。</p> <p>④復習（120分） 講義ノートと配付資料を確認し、わが国の予算制度と課題について考察しまとめる。</p>
6	<p>①授業テーマ 「日本の財政システム 予算②」</p> <p>②授業概要 財政投融资制度、特別会計制度を学修し、その役割と問題点を説明できる。</p> <p>③予習（120分） 教科書第1章「予算と財政民主主義」、図説日本の財政第Ⅱ部第1章「予算制度」、第14章「予算制度改革」を読み内容を考察する。</p> <p>④復習（120分） 講義ノートと配付資料を確認し、わが国の特別会計制度と課題について考察しまとめる。</p>
7	<p>①授業テーマ 「税制① 信頼される税制の在り方」</p> <p>②授業概要 税金の存在理由とその在り方をアダム・スミス、ワグナーの伝統的租税原則論を学び、現代の租税原則の収斂と内容、意義を解説できる。</p> <p>③予習（120分） 教科書第2章の「税と信頼」、図説日本の財政の第Ⅰ部3章「課税をめぐる議論」及び第Ⅱ部1章「国の収入の概要」を読み、税の役割と租税原則と公平な税の在り方を考察する。</p> <p>④復習（120分） 講義ノートと配付資料を確認して、税の役割と租税原則と公平な税の在り方について考察しまとめる。</p>
8	<p>①授業テーマ 「税制② 所得税・法人税・消費税」</p> <p>②授業概要 直接税・間接税、所得税・法人税・消費税とその問題点を学び、在るべき税制を解説できる。</p> <p>③予習（120分） 教科書第2章の「税と信頼」、図説日本の財政の第Ⅰ部3章「課税をめぐる議論」及び第Ⅱ部1章「国の収入の概要」を読み、各税の役割と在り方を考察する。</p> <p>④復習（120分） 講義ノートと配付資料を確認して、所得税中心から消費税へ変化した理由、消費税の問題点について考察しまとめる。</p>
9	<p>①授業テーマ 「公債① 日本の公債制度」</p> <p>②授業概要 公債の定義、種類、発行方法、償還方法を学修し、説明できる。</p> <p>③予習（120分） 教科書第4章の「財政赤字の理論と実際」及び図説日本の財政の第Ⅰ部3章「財政赤字に関する論議」、第Ⅱ部12章「国債費及び国債管理政策」及び第15章「財政投融资」を読み、わが国の公債について考察する。</p> <p>④復習（120分） 講義ノートと配付資料を確認して、公債発行に関するわが国の財政規定を確認し、国債と歴史的な変遷と公債発行による財政支出をめぐる論議について自分なりの考察をまとめる。</p>
10	<p>①授業テーマ 「公債② 公債累増と問題点」</p> <p>②授業概要 わが国の公債発行の推移と累増、発行と累増によって生じる様々な問題点について学修し、解説できる。</p> <p>③予習（120分） 教科書第4章の「財政赤字の理論と実際」及び図説日本の財政の第Ⅰ部3章「財政赤字に関する論議」、第Ⅱ部12章「国債費及び国債管理政策」及び第15章「財政投融资」を読み、さらに日銀による事実上の財政ファイナンスなど、わが国の公債が有する問題点について考察する。</p> <p>④復習（120分） レポート提出課題①「プライマリー・バランスの概念を踏まえて、わが国の財政再建に</p>

	<p>求められることは何か、自分なりの考察をまとめよ。」(A 4版1枚、1,000文字程度)、提出先、提出期限等の詳細はポータルにて提示します。→フィードバックの方法(模範レポートを示しつつ、関連知識のおさらいをします。)</p>
11	<p>①授業テーマ 「地方財政① 地方自治と地方財政」</p> <p>②授業概要 身近な政府である地方自治体の財政の現状と国との関係を学修し、地方分権を含めた今後の地方自治と地方財政の在り方を解説できる。</p> <p>③予習(120分) 教科書第5章「地方自治と地方財政」及び図説日本の財政の第Ⅱ部13章「地方財政」を読み、わが国の地方財政について考察する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートと配付資料を確認して、地方財政と地方自治体の今後の在り方を自分なりに考察しまとめる。</p>
12	<p>①授業テーマ 「地方財政② 地域の変容と地方財政」</p> <p>②授業概要 地域の実態を踏まえた公共事業と対人社会サービスの在り方を学修し、説明できる。</p> <p>③予習(120分) 教科書第9章の「地域の変容と地方財政」及び図説日本の財政の第Ⅱ部6章「社会資本の整備」を読み、内容について考察する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートと配付資料を確認して、社会資本整備の状況と問題点を確認し、総務省が市町村毎にまとめている決算カードを参照にして、学生自身の出身市町村の財政状況(財政資力、特に土木費、民生費等)について自分なりの考察をまとめる。</p>
13	<p>①授業テーマ 「社会保障① 社会保険と生活保障・社会保障の財政問題」</p> <p>②授業概要 福祉国家の発展経緯、社会保障における社会保険の重要性と財源構造、民間保険との違い、税との違いを確認し、社会保険料負担の特質と近年の改革動向を学修する。社会保障制度形成の意義、少子高齢化の進展による公的年金制度の危機的状況を回避するための制度改革の方向性について解説が出来る。</p> <p>③予習(120分) 教科書第3章「社会保障と生活保障」、第8章「世代間対立と社会保障」及び図説日本の財政の第Ⅱ部4章「社会保障」を読み、社会保障の概念と意義および公的年金制度の意義と現状について考察する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートと配付資料を基に、社会保障給付費の概念と一般会計予算の社会保障関係費の概念の違いと両経費の関係を確認し、社会保障関係費の一般会計予算に占める推移と現役世代(若年世代)の負担について、自分なりの考察をまとめる。 また公的年金の財政方式には2つの方式があるが、それぞれの方式の特徴と問題点について、自分なりの考察をまとめる。</p>
14	<p>①授業テーマ 「社会保障② 経済成長と所得再分配」</p> <p>②授業概要 財政を結び目とした経済成長と所得再分配の関係のこれまでの理解と低成長時代における社会的投資の在り方を説明できる。</p> <p>③予習(120分) 教科書第6章「経済成長と所得再分配」、第7章「格差と貧困の拡大と所得保障問題」及び図説日本の財政の第Ⅱ部4章「コラム：働き方改革について」を読み、内容について考察する。</p> <p>④復習(120分) 市場メカニズムの重要性は認識したうえで、より人間的未来へ向けた社会の在り方や所得保障の特徴と問題点、貧困対策について自分なりの考察をまとめる。</p>
15	<p>①授業テーマ 「社会統合と財政」(総まとめ)</p> <p>②授業概要 これまでの講義を振り返り、財政の機能と役割を確認し、社会ニーズの充足と社会統合の必要性を考察しながら財政学の全体構造と問題点についての理解を深め財政学の意義を解説できる。</p> <p>③予習(120分) 教科書の終章「社会統合と財政」を読み、内容について考察する。</p> <p>④復習(120分)</p>

	レポート提出課題②「市場の失敗、政府の失敗、政治の失敗と失敗が連続する現実の中で、社会「共通の財布」である財政が満たすべき社会ニーズとは、その在り方と財政の役割はなど、学習した事項の中から各自選出し、そのテーマを一層深掘り検討し、最後に自分なりの考えをまとめる。」（A4版1枚、1,000文字程度）、提出先、提出期限等の詳細はポータルにて提示します。）
関連科目	「経済学1 RMGT/SSCS1137」、「経済学2 RMGT/SSCS1138」
教科書	高端正幸・佐藤滋著『財政学の扉をひらく』有斐閣ストゥディア、2020
参考書・参考URL	『図説 日本の財政』（令和4年度版）、株式会社財経詳報社
連絡先・オフィスアワー	<a href="https://classroom.google.com/c/NTg2NTUwMjMyOTU0?cjc=snqt5e3">https://classroom.google.com/c/NTg2NTUwMjMyOTU0?cjc=snqt5e3</a>
研究比率	



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.